

第5回 筑西市「道の駅」整備推進協議会「議事要旨」

日時	平成27年11月4日(水) 9:00~11:00
場所	筑西市役所本庁舎2階 研修室
出席者	<p>【委員】</p> <p>岡本 直久 筑波大学システム情報系社会工学域教授 木内 良夫 筑西市副市長 小林 幹愛 下館商工会議所副会頭 大畑 良雄 筑西市商工会会長 鈴木 勝家 筑西市観光協会会長 延山 正 北つくば農業協同組合営農経済部長 高野 雅代 下館青年会議所 総務事務局会計幹事 大畑 清子 筑西市消費者団体連絡会会長 野澤 和子 筑西市地域女性団体連絡会会長 飯山 由美子 筑西地域女性農業士会副会長 角田 光雄 一般公募 江田 彰 一般公募 藤田 幸恵 一般公募 土井 優香里 一般公募 坂入 龍一 筑西市企画部長 菊池 雅裕 筑西市経済部長 渡邊 孝 筑西市土木部長</p> <p>【オブザーバー】</p> <p>飯田 寛之 国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所計画課長 飯村 信夫 茨城県道路維持課技佐兼課長補佐(技術総括) 鶴見 武史 茨城県販売流通課主事(代理) 檜山 敦 茨城県農村環境課技佐兼課長補佐(技術総括)</p> <p>【事務局】</p> <p>深見 正徳 筑西市企画部次長 稲見 博之 筑西市企画部次長兼企画課長 伊坂 保宏 筑西市企画部企画課道の駅推進室長 小島 一夫 筑西市企画部企画課道の駅推進室主幹 大山 智也 筑西市企画部企画課道の駅推進室主任</p> <p>【コンサルタント】</p> <p>森 隆信 (株)オリエンタルコンサルタンツプロジェクト開発部次長 関 詩織 (株)オリエンタルコンサルタンツプロジェクト開発部技師 芦野 恵 (株)オリエンタルコンサルタンツプロジェクト開発部技師 大島 恭司 (株)オリエンタルコンサルタンツ茨城事務所 村松 圭 (株)オリエンタルコンサルタンツ茨城事務所</p>
議題	<p>議事</p> <p>(1) 基本構想</p> <p>① 「道の駅」立地計画について</p> <p>② 基本構想(案)の内容について</p> <p>(2) 基本計画</p> <p>① 「道の駅」導入機能について</p> <p>(3) その他</p>

■議事(1)基本構想 ①「道の駅」立地計画について

【事務局説明】

- ・ 共通認識の確認のため、本協議会で協議する内容について、改めて説明した。
- ・ 候補エリアの選定について、前回の協議において、総合評価により優位性が認められることから、事務局が候補エリアとして提案したDエリアについて、ハザードマップ上の浸水想定エリアであることから防災面について再検証を行った結果、安全性に問題がないことを説明した。
- ・ 他のエリアよりとくに優れていると評価される項目があるCエリアとDエリアに絞りこみ、評価を行った経緯と結果について説明した。
- ・ 総合評価を踏まえ、事務局として、Dエリアを提案した。
- ・ 立地計画案について、質疑応答および意見交換を行った。

◆立地に関する意見交換

- 総合評価から見ても全体からみても、おそらくDエリアが望ましいと思う。しかしながら考慮すべき点は何点かある。まず視認性に関しては、道の駅を視認してそこに寄るというドライバーは、よほどでないといない。なぜならば、大抵の場合、ドライバーはもうそろそろトイレに行きたいと思ったら、道路標識で道の駅の位置を確認するからである。そのため、50号だけでなく294号の客も呼び込めるように、標識や案内をきちんと整備すべきである。実際の入りやすさという点では、Dエリアに勝るものはない。次に競合性では、294号沿いに「道の駅にのみや」、「道の駅しもつま」、「きらいち筑西店」があり、競合するというが、エリアで見たら全て競合対象である。そのため、通過交通はあてにせず、周辺住民に選んでもらえるよう、目的地型、滞在型の道の駅を目指していろいろな店や企画、イベントを充実させ、筑西に行きたいと思わせる仕掛けをつくっていかなければならない。景観性では、例として、川場田園プラザの景観が非常にいいため客が集まっていると説明があったが、これは見方が偏りすぎている。景観がいいから川場に集まるのではなく、ちょっとした遊園地やありとあらゆる地元食材が揃っているためみんな行きたがる。やはり、目的地型、滞在型にして、集まる仕掛けをつくっていかなくてはいけない。筑西市の道の駅もそうならば、国道50号バイパスの通過交通量が1万2,000台であっても人は集まってくると考えるためそのようにしなければならない。
- 災害には、水害、火災、風、雪、雷、竜巻、ひょう、地震、自動車事故、病気、けんかななどの暴力ざたが想定される。その中でも、水問題、地震、自動車事故、病気の対策を考えた場合、水の問題は盛土をすれば解決可能であり、かつ、病院や消防署、竹島の小学校のような避難所があるDエリアは非常に環境が良いといえる。また、眺望も良い。交通事故に関しても、大きな看板を立てて啓蒙を図るなど、対策をすれば良い。水害の問題のみでDエリアはいけないとは言いかねるため、盛土などの対策で解決を図ってもらいたい。
- 一番入りやすいのがDエリアであれば、Dエリアがよいと思うが、生産者としては、農産物の運搬を考慮して自宅から近いほうが良いが、それは個人の考えであり、やはりDエリアが有力だと思う。
- 先日、所属する女性会のメンバーに意見を聞いたところ、明野地区からは道の駅は遠く、足が遠のくのではないかということだった。そのため、道の駅しもつけのような調理室があれ

ば、買い物だけではなくそこで様々な事業を行うことができるため、明野地区の人も呼び込むことができるかもしれないという話があった。私もDエリアが1番良いと思う。

○私は明野地区の住民なので、まさにその通りだと思う部分もあるが、明野地区には国道自体も通っていないため、道の駅を作ることは無理だと思う。警察も消防署も近く、病院もできる予定であり、かつ出入りがしやすいというのは一番大切な要素だと思う。今回、CエリアとDエリアが有力であり、2つを比較すると、明らかにDエリアのほうが出入りがしやすい。高齢者の方は、立体交差のある場所は絶対に近寄らないと思う。道の駅は、どこにつくってもそこに魅力がなければ人は来ないと思うので、出入りがしやすいことと景観の良さは大切な要素である。一番心配していた水害の問題も盛土で解決できるのであれば、私はDエリアでいいと思う。予算の問題はわからないがすごくいい場所だと思う。

○候補地としてはDエリアが良いと思う。近隣に公的な機関があるということは、とても魅力的である。所属の団体の方に聞いたところ、候補地がちょっと遠いという意見もあったが、そこに魅力があれば、ドライブがてらでも行くと思われるため、まずは地元の人がそこに行って参加できる形であることが重要。例えば、料理教室の開催が挙げられる。料理教室では、様々な問題が解決できると思う。例えば、農家の嫁不足問題や婚活問題が挙げられるが、料理教室はすごく人が集まってくるため、皆を呼び、料理をしながら会話をすることで交流が図られ、婚活の拠点にもなるのではないかと。地産地消をテーマに、地元の食材を活用して料理をすることで、生産者と消費者が会話できるような活動ができればよい。また、道の駅の標識を出し、遠くから存在をアピールすべきである。標識には、筑西のちっくんなどのキャラクターを付けるなど、「楽しそうだからちょっと行ってみようかな、寄ってみようかな」という雰囲気を出せる形がよい。

○前回の会議では、交通量の問題や、SLの視認からCエリアが良いと思っていたが、資料を読んでいくうちに、浸水の問題は盛土で解決できることもあり、だんだんDエリアのほうが良いという気持ちになった。交通量の問題があり、集客のためには滞在型の道の駅にしなければ難しいという思いがあるため、調理室を完備し、みんなで料理ができればよいと思う。また、広場や公園設備の充実を図り、子どもたちを集められれば週末は楽しいと思う。正月には餅つき、節分には豆まきなど、定期的なイベントを開催し、集客すればよいと思う。

○Dエリアの東方面、小貝川を渡った先のバイパス入り口が、交通量の割にかなりの混雑地帯となっていると思われるので、Dエリアを避けて通っている人も多いのではないかと懸念がある。これが交通量が伸びない原因になっていると思う。そのため、バイパスの入り口と横塚の一带の渋滞が緩和されるようなものが、この5年、10年以内のできるのであれば、Dエリアがよいと思う。

○当初からCエリアが望ましいと思っていた。会社の客人に対してはCエリア近辺を案内し、サケの遡上や桜を眺めながら商談をしてきた。秋には農家の方に協力してもらって、コスモス畑も作るのも良いと考える。これらのことからCエリアを推奨したい。ずっとものづくりをやってきたので、マイナスの点をプラスにする、改善を繰り返していいものにしていくことが一番大事だと考えている。企業、学校、地域の団体、町内会の皆を巻き込んで、運営面でカバーしていけば、本当に楽しい、孫を連れて遊びに行けるような、そんな場所になると考える。

○私も当初Cエリアを提案していたが、これだけ市民の皆さんに熱意を持ってDエリアで頑張

ろうという意思表示をしていただいた。もっとも懸念していたのは安全性の問題であったが、盛土でカバーできるということであれば、会議の流れからいってDエリアということで決定したいと思う。【岡本会長】

○(Q)勝手に協議会の意見でA、B、C、Dを選定してきたが、土地の所有者の合意を得たうえでA、B、C、Dの設定だったのか。

⇒(A)それは我々の役割ではなく、行政の役割である。【岡本会長】

⇒(Q)聞いてはまずいのか。

⇒(A)(用地買収については)まだ何も行ってない。【事務局】

⇒協議会として構想を作成し、市に提言したあとは市議会なりで議論していただくことになろうかと思う。かなりの方向性を持った形での提言ではあるが、まだ市の中で議論は続けられると思う。Cエリアがよいという意見もあったが、出されたアイデアをDエリアでも実現できるように検討することを約束し、この協議会ではDエリアを候補地として意見を上げたいと思う。【岡本会長】

■議事(1) 基本構想 ②基本構想(案)の内容について

【事務局説明】

・これまでの協議会における議論を踏まえ、作成する基本構想(案)の内容について、説明した。

主な内容は以下のとおり

○コンセプトについては前回協議会で「みんなが楽しい道の駅」という提案を頂いた。この意味するところについてまとめていく。

○基本方針は、①市民が育てる道の駅、②市民活動のステージ、③「農」の活用により、筑西の個性を創造・発信する「場」、④ずっと居たくなる、また来たくなる「場」、⑤「防災」をまなび、意識し、拠り所となる「場」の5つを挙げている。③については、協議会意見を踏まえ「お米をはじめとした」との文言を取る形としたが、事務局として、お米を活用するというアイデアを捨てたわけではない。農業を中心に多様な活動やアイデアがある中で、活かしていくという方向性は変わらない。

○立地計画は、先程の協議結果を基に、選定の考え方をまとめる。

○管理・運営については、民間の感覚やアイデアが必要であるということと、市民が育てるという基本方針にもあるとおり、運営後も市民の皆さまに関与していただくということから、純粋な一民間企業の運営では難しそうだという共通認識である。それを踏まえ、基本方針を実現するために本構想で示す方向性として、ひとつは一体型の整備を目指すこと、もうひとつは公設民営が望ましいと思われるが、引き続き、運営形態についての具体的な検討を基本計画の中で行っていく、といったような記述にさせていただきたい。

・説明を踏まえ、質疑応答および意見交換を行った。

【主な意見、質疑】

○(Q)資料2の「5.整備・管理運営」の中に、「公設民営」という言葉を入れておくべきだと思う。ここに突然「一体型」と書かれても、何と何の一体型というのもよく分からない。基本構想(案)は11月中旬に委員の皆様に見てもらおうことになるが、全部で何ページぐらい

のものを想定しているのか。【岡本会長】

⇒(A) 10~20 ページぐらいを想定している。基本計画のほうはもう少しボリュームが出てくると思う。【事務局】

⇒(Q) 1章が大体3 ページ前後ということか。【岡本会長】

⇒(A) そのとおり。【事務局】

○基本コンセプト「みんなが楽しい」は非常に良いと思うが、「みんな」は誰を指すのか、という認識を明確にしておく必要があると思う。私の考えでは、「みんな」というのは、ものをつくる人・生産者、ものを売る人・道の駅の関係者、買う人・道の駅に行くお客さんの3者が「みんな」である。つくる人も楽しい、売る人も楽しい、あるいは「道の駅」に関係する人も楽しい、もちろん行ったお客さんも楽しいというイメージになるのではないかと思う。

⇒その通りにきちんと反映をする。【事務局】

⇒今のアドバイスからすると、市民の中にも消費者という性格しか持っていない人もいれば、生産者の性格の方もいることを、ちゃんと区別して書いてもらいたいということになる。【岡本会長】

○「3. 導入機能について」の基本方針の⑤で、「防災」をまなび、意識し、拠り所となる「場」とあるが、この「拠り所」というのは、防災に対する意識が少し薄すぎるような気がする。常総市の災害では、筑西でも鬼怒川沿いでは相当の影響があった。防災の本部ぐらいのインパクトがあってもいいと思う。

⇒事務局としては、防災本部は市役所の本庁舎や、避難所として使っている総合体育館と考えている。ただ、川に近いということで、浸水の被害も心配される場所ではあるが、そもそも浸水の場合には、道の駅は浸水しないように整備する予定だが、周辺一帯の市道や細い道路は冠水する恐れもある。そのため、浸水時は、市としては浸水しないエリアに市民を誘導することになると思う。あくまで、逃げ遅れた場合は拠り所になるというイメージで、防災機能について考えていく必要があると思っている。【事務局】

○防災はどの範囲まで考えた方がいいのか。元来「道の駅」は、全国的にドライバーが休憩する施設という前提であったが、方向性を聞いていると、あらゆる機能がフル装備のような格好になっており、これは大変な投資が必要だと思う。そうすると予算の問題など、いろいろな課題が出てきそうな気がする。もう少しシンプルに、本当にあるべき道の駅の姿に特化していったほうがいいのではないか。防災拠点となると、周囲に消防署、警察署、市役所、病院等、様々な施設があるため、分担して関わっていくということで良いと思う。

⇒市の防災計画の中に防災拠点と位置付けられている既存の施設がいくつかあるため、筑西市「道の駅」は、+αとしてどういった役割ができるかと考えた場合に、現時点では控えめにこのような表現になったのだろう。【岡本教授】

⇒ちょっと控えめすぎではないか。

⇒控えめでよいのではないですか。【岡本教授】

⇒この間の常総市の災害では、県の女性会で1カ月近く炊き出しに行った。筑西からも延べ人数にすれば50名ぐらいは行った。家は2階建であるためどうにか住むことはできるという家庭でも、台所は1階にあるため被害に遭ってしまい調理ができないというひが多かったことから、「道の駅」に調理室を作って貰えば、そこで炊き出しの準備ができると考える。

⇒これについての事務局へのアドバイスとしては、控えめでもいいけれども、もうちょっとア

ピールしてもいいということだと思う。安全性にはずいぶん配慮したわけですから。

■議事(2) 基本計画 ①「道の駅」導入機能について

【協議内容】

- ・今後における施設規模や配置計画の検討に際し参考とするため、基本方針を実現するための導入機能について委員のみなさまよりアイデアや意見を頂いた。事前に作成を依頼していた回答表に基づき、各委員2分間で発表して頂き、出された意見については、事務局が付箋に記載して会議場前方のホワイトボードに貼り、共有した。

【意見内容】

1. 市民が育てる道の駅
2. 市民活動のステージ
3. 「農」の活用により、筑西の個性を創造・発信する「場」
4. ずっと居たくなる、また来たくなる「場」
5. 「防災」をまなび、意識し、拠り所となる「場」

その他

※上記の項目について委員よりご意見をいただきましたが、アイデアに関する内容であることから掲載は割愛します。

■議事(3) その他

【事務局説明】

- ・各団体の代表者に協力のもと、関係者ヒアリングを行っていることへの協力に対し、事務局から御礼を申し述べた。
- ・「やっぺえ」まつりで実施した利用者アンケートについて、概要と結果速報を報告した。その他、順次実施予定のウェブアンケートと実施中の市の職員向けのアンケートについて、概要を説明した。
- ・基本構想案の送付と追加で行われる12月22日の協議会について案内した。
- ・質疑応答を行った。

【質疑】

○(Q) パブリックコメントはいつ頃行うのか。

⇒(A) 基本構想とその後の基本計画がまとまった段階で、来年2月ぐらいを想定している。

【事務局】

⇒(A) 2月のパブリックコメントの前に協議会を行い、そこで意見を固めて、パブリックコメントを行い、3月に決着がつくというスケジュールである。【岡本会長】

以上